

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和8年2月24日

中国運輸局

**評価対象事業名：離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金**

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路確保維持協議会	有限会社阿多田島汽船	阿多田～小方 航路	御船印の発行により、普段利用のない県外からの乗客が増加した(猛暑などの理由により、釣り堀利用客数は減少しているが、御船印を購入された方が乗船されたことで、マイナスが多少補われたため)。また、キャッシュレス決済の周知が進んだことで、全体の25%の利用率を確保できた。	A	B	猛暑により、夏場の集客が減少傾向にあるため、港でのイベントを企画し、少しでも利用者を増やす取り組みを実施して行く予定。さらに、SNSでの継続的な情報発信や御船印のPR活動を通じて、年間を通して離島住民以外の方にも利用してもらうことを目指す。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>港でのイベント企画や、SNSでの継続的な情報発信、御船印のPR活動を積極的に実施している点について、評価します。</li> <li>目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、継続的な利用者拡大のための取組に努めることを期待します。</li> </ul>	
広島県離島航路確保維持協議会	走島汽船有限公司	走島～鞆 航路	航路事業者として安心・安全な航路運営に努めており、島外からの釣り客等は少しながら上昇している。また、最近では来島する観光客がSNSを使って「猫の島」という情報を発信しており、来島する観光客も増えている状況。しかしながら、依然として島民の人口は減少しており、運航収入の増加は見込めない状況である。	A	B	航路事業者として安心・安全な航路運営に努めるとともに島民や島外からの一般利用の利用促進のニーズに対応していく。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の増加につながる取組など利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。</li> </ul>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路確保維持協議会	尾道市	細島～西浜 航路	島内人口と島内工事の減少により、運航収益は前年と比較して減少した。費用面では緊急修繕がなかったため、修繕費や用船料が減少した。前年から参加した小学生乗船無料キャンペーンも継続し、地元小学校へチラシを配布するなど、細島航路へ興味を持ってもらえるよう取り組んだ。	A	B	島内人口が減少、高齢化が進行する中で、日常生活に欠かせない唯一の交通機関として、利用者の利便性、安全性が十分確保できるよう航路運営に努める。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> <li>・地元小学生へのチラシ配布等、航路に興味を持ってもらうための取組について評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、利用者の増加につながる取組など利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。</li> </ul>	
岡山県離島航路確保維持協議会	三洋汽船株式会社	笠岡～飛島～六島航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図った。	A	A	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、日本遺産認定を起爆剤として、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図りつつ、島しょ部のイベント等の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致によって、航路維持を図る。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行政と連携した取組やイベントの活用、情報発信により、航路全体の利便性向上に努めることを期待します。</li> </ul>	
岡山県離島航路確保維持協議会	三洋汽船株式会社	笠岡～佐柳本浦航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図った。	A	B	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、日本遺産認定や白石踊のユネスコ無形文化遺産登録を起爆剤として、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図りつつ、島しょ部のイベント等の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致によって、航路維持を図る。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行政と連携した取組やイベントの活用、情報発信により、航路全体の利便性向上に努めることを期待します。</li> </ul>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県離島航路確保維持協議会	大生汽船株式会社	大多府～日生 航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図る。	A	A	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図り、島しょ部の観光資源の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致及び離島住民の生活を支える交通手段として航路維持を図る。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行政と連携を図りながら、航路の利便性向上に努めることを期待します。</li> </ul>	
山口県生活交通確保維持改善協議会	上関町	八島～上関 航路	<p>島の活性化を図っている八島出身の島外住民の方々に協力を促し、釣り客等の観光客や海岸清掃活動参加者も徐々に増えてきたので対応できた。</p> <p>燃料費の抑制などについても半年に1回の入札により経費削減に努めた。</p>	A	A	島民以外の航路利用者を増やすために、島民と行政とが連携し、島の風景の観光事業や温暖な気候をPRした島旅の魅力を発信する。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より燃料費を減少させている点について、評価します。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、経費削減の工夫や島民との連携を生かしながら、航路の維持と活性化に努めることを期待します。</li> </ul>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	牛島海運有限公司	室積～牛島 航路 【離島航路構造改革事業】 先代の「うしま丸」は船齢21年を経過し老朽化が進行していることから、様々な不具合による修繕費が年々増大し、運航に必要となる船員の確保が年々困難となっていた。そのため、令和6年11月に就航した新船では、20トン未満に小型化する新船建造を行った。	荒天による欠航は発生しているが、この他の理由での欠航は無く運航を行った。 島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターや光市地域公共交通協議会等との連携による不定期航路事業への取組みやSNSを活用した情報発信等により利用促進を図った。 合わせて、経営健全化の観点から運賃改定を行うとともに、新船を就航した。  新船建造にあたり、設計費、建造費など多額の資金調達が必要となるため、JRTTが実施する船舶共有建造制度を活用した。	A	A	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターなど市関係機関との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図る。  【離島航路構造改革事業】 船舶の小型化に伴う船員体制の合理化や修繕費等の経常経費の削減等により、効率的な航路運営を図る。 一方、船舶の小型化により、以前に比べ波や風の影響を受けやすく、運行可否の判断基準や気象情報の読み取り制度の向上が求められる。	【評価できる点】 ・他組織と連携した不定期航路事業の取組や、SNSでの情報発信を実施している点について、評価します。 ・釣り客の増加を取り込んだ輸送人員の増加について、評価します。  【期待する取組】 ・引き続き、利用者増加に向けた取組の実施について、期待します。  【離島航路構造改革事業】 ・計画どおり新船を小型化し、経費削減を実現していることについて、評価します。 引き続き、安全第一に、航路の維持・活性化に努めることを期待します。	
山口県生活交通確保維持改善協議会	大津島巡航株式会社	大津島～徳山 航路	島内でのイベントが前期をもって終了したことなどから、乗船客数が前期より減少したことに加え、工事車両の減少等により自動車航送台数が減となり、運航収益については減となった。 また、経費削減に努めたものの、新規採用による船員費の増などにより運航費用が増加した。 ホームページやXにより情報発信に努めた。	A	A	島民の減少等により、旅客運送は今後も減少傾向が見込まれる状況であるが、航路の維持に向け、引き続き船費等の経費削減に努め、経営改善に取り組む。 また、引き続き関係機関と連携し、新船建造や効率的な運航体制の構築に向けた検討を行う。 併せてホームページやX等により積極的な情報発信に努める。	【評価できる点】 ・SNSで継続的な情報発信を行い、輸送人員を維持している点について、評価します。  【期待する取組】 ・引き続き、SNSでの継続的な情報発信等、利用者の増加に向けた取組に努めることを期待します。 ・関係機関との連携を図りながら、効率的な運航体制の構築に取り組むことを期待します。	
山口県生活交通確保維持改善協議会	上関航運有限公司	祝島～柳井 航路	SNS等での祝島やいわいの情報発信は継続して行った。 燃料潤滑油費については使用料は微減したものの金額は微増した。	A	A	SNS等で祝島やいわいの情報発信を継続して行っていき、島民や行政、地元関係者と協力し島のアピールをして帰省客、釣り客、観光客の集客に取り組む。 また、経費削減に努め、航路運営の効率化を図る。	【評価できる点】 ・SNSを活用した継続的な情報発信を行い、輸送人員を維持している点について、評価します。  【期待する取組】 ・引き続き、SNSでの継続的な情報発信等、利用者の増加に向けた取組に努めることを期待します。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和8年2月24日  
中国運輸局

評価対象事業名：離島航路構造改革事業に係る調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針、 又は事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	<p>大津島巡航株式会社 (大津島～徳山航路)</p> <p>【事業内容】 旅客船の新船導入において、設計費、建造費など多額の資金調達が必要となるため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)が実施する船舶共有建造制度を活用して令和9年度中の新船就航をめざす。</p> <p>【結果概要】 今後の協議会の検討を経て、航路改善計画(大津島～徳山航路)として最終的にとりまとめる。</p>	A	<p>現在運航している旅客船「鼓海Ⅱ」はまもなく船齢20年を迎え、老朽化が進行していることから、安全な運航の確保を行うとともに、小型化・省エネ化による燃料費の削減、維持修繕費の低減など運航コストの改善を図るため、新船の導入を行う。</p>	<p>【評価できる点】 ・航路診断及び経営診断を実施し、航路改善計画策定に向けた検討を実施されていることを評価します。</p> <p>【期待する取組】 ・引き続き航路改善計画策定に向けた検討を実施し、利便性の向上や航路の維持・活性化に努めることを期待します。</p>	